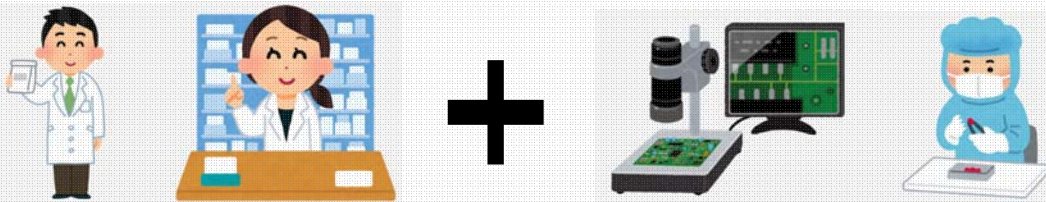


現場ニーズはビジネスの宝の山！ 第2弾

「医療・介護現場のお困りごと（薬局編）」
を解決する新たな技術やビジネスプランの
ご提案を募集します！



健康・医療・介護等のいわゆる「ヘルスケア産業」の市場は、高齢化の進展に伴い、今後も大きく拡大することが見込まれています。

横浜市では、医療・介護分野の従業員の皆様からお聞きした、業務改善や、高齢者の自立支援に関するお困りごと等と、市内企業等が持つ技術やビジネスプランとのマッチングを行うことで、「お困りごとの解決」及び「市内産業の振興」につなげる取組を行っています。

このたび、市内の薬局のご協力を得て作成した「医療・介護現場のお困りごと（薬局編）」を公開します。つきましては、お困りごとの解決につながる新たな技術やビジネスプランをお持ちの企業等の皆様からのご提案を募集しますので、是非、ビジネス参入機会としてご活用ください。皆様からのご提案をお待ちしています。

1 「医療・介護現場のお困りごと」の一覧について

薬局で働く皆様からお寄せいただいたお困りごと（※）を、解決できる新たな製品やサービスの想定例と併せて、経済局ウェブサイトで公開します。

（経済局ウェブサイト）：

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/lifescience/kenkou/iryokaigoboshu.html>

（※）市内の薬局（約1,500か所）の従業員の皆様に「薬局のお困りごと」に関するアンケート調査を行い、190件のご回答をいただきました。

寄せられた代表的なお困りごと等

外国語でのコミュニケーションが難しい

専門用語にも対応した、翻訳機が欲しい！

混雑時など、待ち時間が長くなってしまう

動画や健康器具などを活用して、待ち時間を有効に使えるといいかも

薬歴の入力や管理に時間がかかる

問診表やお薬手帳の内容を手入力することなく取り込めれば・・・



2 提案の募集について

お困りごとの解決につながる新たな技術や、ビジネスプランをお持ちの企業等の皆様からのご提案を募集します。(製品等の改良を見込む場合も含まれます。)

ご提案いただける場合は、経済局ウェブサイト上のエントリーシートをご提出ください。その後、当事業の受託事業者である株式会社シード・プランニングが、お困りごとの背景等の詳細情報をお伝えするとともに、製品開発やサービス創出に向けた試作品に対するアドバイスや、ビジネスプラン作成支援、実証実験に向けた薬局等との調整等の伴走型支援を行います。

○ご提案いただく企業等の要件

- ・横浜市内本社または事業所を置く企業（市内企業）
- ・市外企業で、市内企業と連携して製品開発・サービス創出を行う予定であり、「よこはまウェルネスパートナーズ」に登録していただける事業所

よこはまウェルネスパートナーズ とは

「よこはまウェルネスパートナーズ」は、企業・団体の皆様と横浜市が連携して市民の健康づくりを推進するための、「健康経営」の推進や健康関連サービスの創出に向けたオープンなネットワークです。（会費：無料）
（詳細は <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/wls/corp/partners.html> ）



○注意事項

- ・伴走型支援を行う案件は数件程度を予定しています。多くのご提案をいただいた場合、内部で審査を行い、支援を行う案件を選定させていただきますことがあります。

○個人情報及び提案内容の取扱い

- ・ご提出いただいた個人情報は、横浜市及び受託者において、本事業に関する連絡に限り利用します。
- ・提案内容については、お困りごとをお寄せいただいた薬局との調整のため、概要を外部に提供することがあります。

○応募方法

- ・エントリーシートに記入の上、watanabe@seedplanning.co.jp にメール送信ください。（送信時は@（全角）を@（半角）に置き換えてください）



お問合せ先

（事業全般について）

経済局ライフイノベーション推進課担当課長 石津 雄一郎 Tel 045-671-3591
健康福祉局地域包括ケア推進課長 喜多 麻子 Tel 045-671-2439

（エントリーの送付先・方法、ニーズ等の詳細について）

株式会社シード・プランニング リサーチ&コンサルティング部
ヘルスケア/医療・介護 ITチームリーダー 渡辺 直樹 Tel 03-3835-9211

LIP 横浜
Life Innovation Platform YOKOHAMA

※横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

「医療・介護現場のお困りごと(薬局編)」の一覧

お困りごとの解決につながる新たな技術やビジネスプランをお持ちの企業等の皆様からのご提案を募集します。ご提案いただける場合は、横浜市経済局ウェブサイトからエントリーシートをダウンロードし、ご記入のうえご提出ください。

その後、当事業の受託事業者である株式会社シード・プランニングが、お困りごとの背景等の詳細情報をお伝えするとともに、製品開発やサービス創出に向けた試作品に対するアドバイスや、ビジネスプラン作成支援、実証実験に向けた薬局等との調整等の伴走型支援を行います。

詳細は、横浜市経済局ウェブサイトをご覧ください。(横浜市経済局ウェブサイト)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/lifescience/kenkou/iryokaigoboshu.html>

(※) 市内の薬局(約1,500か所)の従業員の皆様に「薬局のお困りごと」に関するアンケート調査を行い、作成しています。

NO	分類	背景やお困りごと	解決できる製品やサービスの想定例
1	スムーズな服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆服薬指導時、高齢者等は薬の説明を理解しているか不安。 ◆患者から服薬指導に必要な回答が得られにくいことがある。 ◆薬局が混み合う際、服薬指導に十分な時間を割けない。 ◆ジェネリックの理解・関心が得られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆AIによる会話・問診ロボット(返答を薬歴システムに入力)。 ◆タブレット用コミュニケーション・記録アプリ。 ◆指導箋等、薬・薬局業務等の分かりやすい説明ツール。
2	待ち時間への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談に長時間かかる患者がいると、他の患者の待ち時間が増える。 ◆処方箋を預けて外出した人が戻って来た時の順番調整に苦慮。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆待ち時間に事前アンケートできるタブレットアプリ。 ◆相談時間を短縮できる、患者の要件が分かる電話応答システム(音声ガイダンスなど)。 ◆患者が待ち時間を過ごすための健康器具や会話ロボット。 ◆薬・健康情報コンテンツ(薬局用/家庭用の動画、DVD、漫画など)の開発。
3	外国語への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本語以外の言語の患者とのコミュニケーションに苦労。スマートフォンの翻訳機能は業務が立て込むとうまく使いこなせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆安価で使いやすい多言語翻訳機(レンタル、薬局用語をカバー)。 ◆外国語対応の電子お薬手帳。 ◆外国語対応のコミュニケーションツール ◆通訳サービス。 ◆問題の有無を確認するアンケート、指差し確認ボード。
4	高齢者への服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆服薬指導時、耳が遠い高齢者と意思疎通が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆窓口で使える拡声器、補聴器。 ◆問題の有無を確認するアンケート、指差し確認ボード。
5	お薬手帳(アプリ)	<ul style="list-style-type: none"> ◆複数薬局にかかる方の服薬情報を共有できない。 ◆電子お薬手帳は普及途上で規格がバラバラ、アプリが不便(直接画面を覗いたり、ワンタイムパスワード発行が手間)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆QRコードによる併用薬の取り込みや、ワンタイムパスワード読み取り。 ◆医師・介護スタッフ、家族との統一的な情報共有ソフト。
6	併用薬・残薬の把握	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポリファーマシー(多剤服用)への啓発が必要。 ◆残薬についての質問に対し、回答が得られにくい。 ◆かかりつけ薬剤師制度が浸透していないため、併用薬確認等、各薬局の業務が重複している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポリファーマシー啓発リーフレット。 ◆薬局・薬剤師IDと患者の情報で薬歴にアクセス・共有できる仕組み。
7	服薬状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅の服薬コンプライアンス(服薬指導通りに服薬できるか)が難しい。 ◆投薬長期化で、一包化しても指導通りに服用できないなど、服薬管理が難しい。 ◆お薬カレンダーが劣化しやすい(特にポケット部分)。 ◆類似したPTPシートの薬の区別が難しく、誤飲となってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆使いやすい安価なお薬カレンダーやお薬BOX。 ◆お薬カレンダー、カセットに代わるツール。 ◆手間なく、薬を簡単に区別できるように印をつける手段。 ◆日々の服薬状況を把握できるシステム。
8	プライバシーへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆狭いため、服薬指導時、プライバシーを守りにくい。混み合うと、背後の人に声が漏れる。周囲を気にして質問への回答に躊躇する。 ◆薬剤からデリケートな疾患が予測されると、本人に聞きにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆音漏れしないスピーカー。 ◆音を遮断できる設備。 ◆医療機関と疾患名や処方意図を共有できるシステム。
9	患者への健康啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆自身の健康状態に関心な方が多いと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆製品や健康管理に必要な情報コンテンツ(動画や漫画)。 ◆高齢者の生理機能低下の自覚を促す注意リーフレット。 ◆自己の体調を分かりやすい言葉や絵で伝えられるツール。

NO	分類	背景やお困りごと	解決できる製品やサービスの想定例
10	訪問スケジュール、人材確保、移動・駐車スペース	<ul style="list-style-type: none"> ◆急な訪問依頼が来ると人員が足りない。運転・配達専門の薬剤師が欲しい。 ◆移動手段や人員に困っている。移動時、渋滞がある。運転手が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆付近の渋滞情報、イベント、交通規制、推奨迂回路などの配信。 ◆安価な運転手手配・運転代行サービス。
11	訪問スケジュール、人材確保、移動・駐車スペース	<ul style="list-style-type: none"> ◆主治医や訪問看護師、ヘルパー等との、日程調整に苦労している。 ◆医療・介護関係者と電話が繋がらない場合のスケジュール調整が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラウドの多職種スケジュール作成・共有・一元把握システム（薬歴システムと連携）。 ◆医療機関、介護事業者との在宅患者情報共有システム、電話以外の連絡手段。
12	訪問スケジュール、人材確保、移動・駐車スペース	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問時、患者が留守にしていることがある。 ◆訪問を依頼された患者宅が遠い場合、他薬局に対応してもらったことがある。 ◆1人薬剤師のため、代理がいなければ訪問できない。 ◆24時間対応、休日対応、緊急時の在宅スタッフ確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅の留守が分かるシステム。 ◆運搬機材・車両や人員等の一時的な補充。
13	疑義照会、検査情報、処方意図確認	<ul style="list-style-type: none"> ◆疑義照会で医師につながらず、休診の際は、翌日返答になる。特に大きな病院は処方医との連絡が難しく、返答が遅れ、患者を待たせてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆医療機関と薬局がつながるFAX以外の手段（スキャナ、プリンタ、電子処方箋等）。 ◆診察時間外でも医療機関・医師と連絡できる手段・仕組み。
14	在庫のない薬の入手、不良在庫化、廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ◆在庫のない薬が処方され、使い切る前に不良在庫化。期限切れで薬を廃棄しなければならない。 ◆輸液は回収処分に困る。保冷品は返品できない。 ◆使用期限やテッドストックの管理に苦労。 ◆在庫がない時、業務中は他薬局からの入手等が大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸液の回収処分を安価に代行するサービス。 ◆在庫を管理できるシステム。
15	在庫のない薬の入手、不良在庫化、廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ◆医薬品を小分けで購入できない。卸の小分け販売が縮小。専門業者は手数料・配送料金等があり、赤字。余ってしまい、不良在庫が増加。 ◆シロップ、粉、医療材料等を少量単位で購入したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動きが少ない医薬品の小包装販売、小分け配達。 ◆安い薬にも小包装販売（薬価より高くてもよい）。 ◆在庫がない時に近隣薬局と連携できる仕組み。 ◆切り分けた薬をストックできる箱や場所。
16	在庫管理・保管スペース	<ul style="list-style-type: none"> ◆在庫が増大し、棚・収納スペースが不足。 ◆使用期限、経過措置期限、名称変更、販売中止、販売移管、発注店変更等にもなう管理が大変。 ◆診療報酬改正時の在庫入替が大変で毎回大きな損失となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆棚レイアウト・内装等、安く柔軟に対応できるもの。 ◆自由度の高い可動式の棚。 ◆箱ごとの大きさに変えられるカセット。
17	土日祝日・夜間の発注・入手	<ul style="list-style-type: none"> ◆土日はメーカー窓口が休みで、迅速な返答・対応ができない。 ◆卸が休みだと入荷が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆卸が発注を土日でも受けてくれる体制。 ◆土日でも対応する相談窓口、卸・メーカーの夜間・休日対応窓口。
18	入力作業、処方箋様式・QRコード	<ul style="list-style-type: none"> ◆処方箋取込や薬歴・会計の入力が膨大・煩雑。在庫確認も時間がかかる。 ◆多科受診、多剤服用が増え、併用薬の入力・管理に時間がかかる。 ◆日々の服薬指導、電子薬歴の入力・記録が大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆レセコンと在庫のオンライン・オンタイム連動。 ◆入力の自動化。 ◆紙スキャンによるレセコン取込、日付・氏名等による検索機能。 ◆入力等を個人スキルに頼らない環境（音声入力等）。 ◆禁忌やハイリスクなど、ヒヤリハットを防ぐポップアップ等のシステム。

NO	分類	背景やお困りごと	解決できる製品やサービスの想定例
19	薬剤情報・ 薬剤コード 等の参照・ 照合	<ul style="list-style-type: none"> ◆先発/後発など、同成分で複数の商品がある場合にミスリスクがある。 ◆販売中止品、販売移管の在庫管理・発注店変更等が大変。 ◆新規採用薬で錠剤見本がないまま服薬指導することが多い。 ◆局外で質問に対応する際、参照できるデータベースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆製剤を明確化でき、ミスをチェックできるシステム。 ◆タブレットで携帯・検索できる医薬品データベース（製剤見本、使用方法等の最新情報）。
20	一包化	<ul style="list-style-type: none"> ◆病院・日数違い、複数ある一包化した薬剤のまとめ方法が課題。 ◆一包化が増加し、監査に時間がかかる。 ◆一包化した薬と他の薬をホチキス止めすると、ホチキス針の誤飲が不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆複数の分包紙をホチキスを使わず、圧着等で留める方法。熱で一包化された袋同士を接着できる器具（コンパクトなもの）。 ◆穴を空けずに複数のパックを留める器具。
21	散在・錠剤 粉碎・分包	<ul style="list-style-type: none"> ◆一包化や錠剤粉碎の機械がよく故障する。 ◆使い勝手の良い軟膏の混合機がない。 ◆散剤を分包機で撒く時、撒きムラができやすい。 ◆分包機の汚れによる調剤ロス。 ◆分包機が1台だと故障等が不安なため、非常用の簡易な分包機があると良い。 ◆割線のないコーティング錠の分割が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆分包機、混合器。投入口にセットできるふるい器。 ◆錠剤粉碎用の安価で使いやすいミキサー。 ◆静電気を防ぎ、散剤のすべりが良くなり、乳パチや秤量皿、分包機の汚れを防ぎ、調剤ロスやコンタミネーション（異物混入）も防げるスプレー。 ◆簡易分包機（コンパクトな非常用の機器）。
22	監査	<ul style="list-style-type: none"> ◆1人薬剤師のため、監査に時間がかかる。 ◆同成分で複数商品ある場合、ミスリスクがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆1人薬剤師でもストレスなく正確に調剤できる支援システム。 ◆費用負担が小さく済む監査支援機材やQRコードリーダー。

○注意事項

- ・ 伴走型支援を行う案件は数件程度を予定しています。
- ・ 多くのご提案をいただいた場合、内部で審査を行い、支援を行う案件を選定させていただくことがあります。

○個人情報および提案内容の取扱い

- ・ ご提出いただいた個人情報は、横浜市および受託者において、本事業に関する連絡に限り利用します。
- ・ 提案内容については、お困りごとをお寄せいただいた薬局との調整のため、概要を外部に提供することがあります。

○提案いただく技術、ビジネスプラン

- ・ 新たに開発中の製品や、改良を目指す製品、ビジネスプランを支援の対象としています。